

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 山仕事	(ふりがな) やましごと	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	カヤマ (萱山)		
伝承地域	古殿町 論田		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 戦後まで、日本の農山村の屋根はカヤ、ススキ、麦藁などで葺かれた民家が多かったため、屋根葺き用の萱を生やしておくカヤマ (萱山) があった。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) カヤマは、個人持ちと共有とがあり、カヤ刈りは共同作業で行った。カヤ刈り手伝いは、家から男女一人ずつ出ることになっていて、男はカヤ刈り、女は勝手の手伝いをした。良いカヤをとるためのカヤマ焼きは、各家から一人ずつ出て4月に行われていた。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	古殿町教育委員会	電話 0 2 5 7 - 5 3 - 3 1 1 1	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女 歳 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話	
	職 業		
団体	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】

キーワード

<カヤ葺屋根>

屋根葺きには大量のカヤを要するので、何年もかかって刈ったカヤを貯蔵して使った。カヤには、ススキなどのオオガヤや里に生えるキツネガヤがあるが、焼畑跡地のチガヤが最高の質である。カヤ葺き屋根は最も原始的な屋根である。 (伊勢神宮)

日本の農山村では、戦後までカヤ葺きの民家が多かった。

<板葺屋根>

飛鳥時代には既に板葺屋根が存在しており、宮廷建築は板葺きか草葺きであった。仏教文化が入ってからは、寺院の屋根は瓦で葺かれるようになった。 (飛鳥板蓋宮)

都市部においての民家の屋根は、板葺きの置き石屋根だった。

<^{ひわだぶき} 檜皮葺 屋根>

ヒノキの樹皮を用いて施工する屋根葺き手法の一つで、日本独自の屋根工法。檜皮葺は、材料の入手が難しく施工の手間がかかるので、出雲大社など格式の高い神社や京都御所などでしか使用されていない。 (清水寺)

(再考 日本の森林文化 NHKブックス)

<古殿町のカヤ場>



(古殿町教育委員会)



(古殿町教育委員会)